

ワークショップ1：居心地のよいクラスをみんなで作りましょう

《目的》 ◆身近なことを題材にして、自己表現をする。

◆共同の話し合いで作品を作り上げ、その作品を展示する。

◆誰もが参加して発話する。

《注意点》◆話し合うときには、相手を批判したり否定したりしない。

◆自分の意見を必ず述べる。

《手順》

①自分の担当するクラスを思い返してください。そのクラスには、どんな問題がありますか。

ふせん 付箋に書き出しましょう。(付箋ふせんの左下に名前を記入してください) [所要時間 5 分間]

②グループで、自分が書いたクラスの問題点を見せ合ってください。そして、グループ内で、問題点の似ているものを分類しましょう。

③居心地のよいクラスになるためには、どんなルールを作ったらよいと思いますか。

グループで意見を出し合いましょう。(必要であれば、記録をとってください)

[所要時間 ②と③で 15 分間]

④決めたルールをポスターに日本語で書いて展示しましょう。

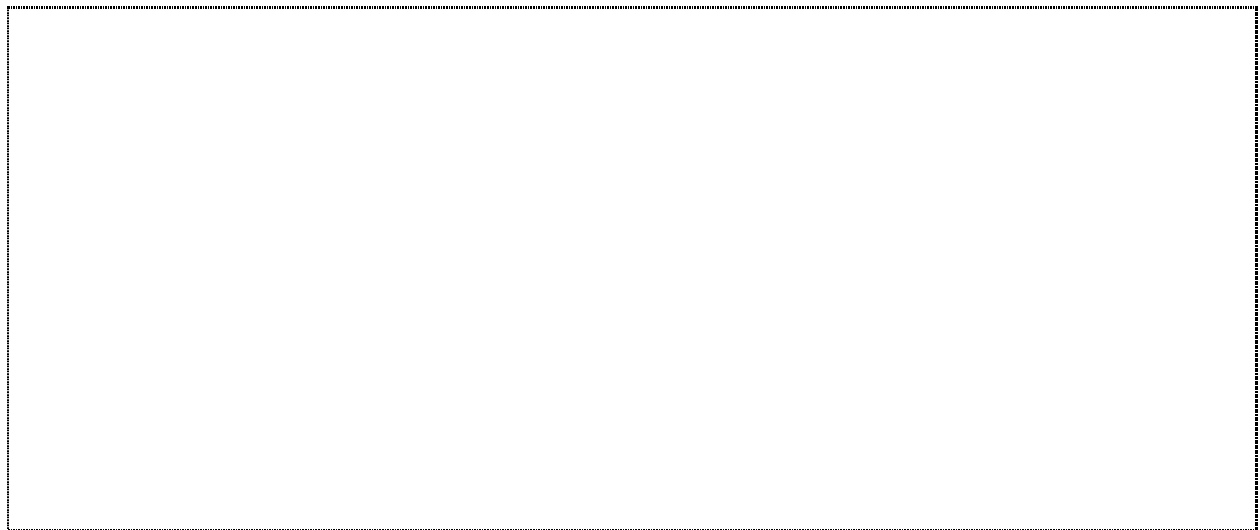
[15 分間]

⑤展示された各グループのポスターを鑑賞してみましょう。

[5 分間]

⑥この活動を振り返って、グループで感想を話しましょう。感じたこと、或いは、自分の担当するクラスでどのように応用できるかなどを話して、発表しましょう。

[10 分間]



⑦全体フィードバック [10 分間]

以上

《授業の目的》◆進学や就職のための自己PR文を書く

《活動の目的》◆作家－編集者の関係で、読み手への意識、そして、個人（書き手－読み手）としての責任を育てる

◆相手に、質問や提案をしながら、互いのPR文に貢献しあう。

《注意点》◆話し合うときには、相手を批判したり否定したりしない

◆自分の意見を必ず述べる

タスクシート（下書き）：《個人作業》

1. あなたはどんな性格の持ち主ですか。（主なものを一つ書いてください）

2. 自分の性格を「もの」や「動物」にたとえるなら、どのように表現しますか。
また、その理由も書いてください。

使用可能表現： のような人です。なぜなら、 からです。

3. その性格を表す出来事を一つ、例として挙げてください。（文章で書かなくてもよい）

4. 3で取り上げた出来事のどの部分が、あなたの性格をよく表してしていると思いますか。

5. 上の順番を参考して、自己PR文をどのような順番で書くのか考えて、メモしてください。

《始め》

《本文》

《終わり》

話し合っ、自己PRの完成に向かいましよう！

《手順》

1. 2-1のタスクシートを基に、お互いの自己PR文の流れを相手に話してください。
《聞き手》へのお願い：自分が編集者になったつもりで、相手の文の構成や内容を聞いてください。聞く際には、以下のポイントを抑えて話を聞いたり、また、ほかに補充したい箇所があれば話し合いを行ったりしてください。
 - ① 話を聞いて、その人の個性が生き生きと感じられるか。どうして生き生きと感じられたか。
 - ② 相手が話した出来事はその人の長所を十分に表しているか。また、話している出来事のどの点が、その人の長所を表しているか・表していないか、話してください。
 - ③ 相手の比喩はその人の性格をうまく表しているか。どこがよかったか・或いは、どのように改善したらよくなるか、話し合ってください。
 - ④ わかりにくいところや、もっと説明してほしいところはないか。
2. 相手の自己PR文を聞いて、よいと感じるところはどこですか。書いてください。
3. 相手の自己PR文を聞いて、改善したらよりよくなる点はありますか。
4. 編集者の意見を聞いて、あなたはどのように思いましたか。
5. 最初に考えた自己PR文の内容は、話し合いを通して変わったところがありますか。

ワークショップ2のフィードバック：

4人グループで、今回の活動で感じたことを話し合っ、発表してください（10分）

《記録担当》

《発表者》

《グループのまとめ》